

令和 7 年度の事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人おかやま UFE

1 事業の成果

当法人では、以下の事業について実施した。

1) 「住まいと暮らしのサポートセンターおかやま」の事業では、高齢者や障害者、生活困窮者等による家賃の滞納や住まいの老朽化等による立ち退きなど、住宅確保要配慮者の様々な事情による住み替えや住まい確保の相談を受け付けた。2025 年度は 88 件と前年度比に比べて相談件数の減少に転じた。(2024 年度 153 件、2023 年度 150 件、2022 年度 136 件、2021 年度 182 件、2020 年度 123 件) 要因は不明だが、新たな居住支援法人の増加により、相談する先が選択できるようになったからではと推察する。

毎月、第 2 木曜日に実施する「住まいと暮らしの無料相談会」では、公益社団法人岡山県宅地建物取引業協会と社会福祉法人岡山市社会福祉協議会と連携して、例年通り開催した。本年度は、20 件の相談を受け付けた。前年度の 23 件に比べて 3 件減少した。

(詳細) 相談者の性別では、全体を通して、女性の相談者が比較的多く、男性 4 割弱、女性 6 割強である。年齢層別では、70 代が一番多く、続いて 60 代と高齢者の相談率が高い傾向にあるが、2025 年度では、40 代の相談者が 1 番多く、続いて 50 代の相談であった。住まいの課題が若年層にもシフトしている傾向がある。単身世帯ではない方の相談が多い傾向にあった。

相談件数については、昨年度に続き、年間通して 20 件、月 2 件程度で推移していた。月別について、例年 6~8 月の相談件数が多くなっているものの、今年度としては、過度な件数が積みあがった月はない。(単純に、7 月は 2 回開催されたため、件数が多くなった。)

相談内容(2025 年度)は例年通り、相談者本人が、「困っていること」について整理しておらず、明確に課題を見出していないケースが大半である。そのため、本人の理解力や話の整理に寄り添うために 1 件につき 1 時間程度要する傾向にある。今年度については、「住まい確保」と「その他」の相談が多く、「その他」では、家賃滞納による強制執行でシェルター利用の相談が 2 件、世帯分離のためのシェルター利用が 1 件、子どもへのハラスメントに対して住まいを分けるための相談が 2 件、子どものいじめによる転居相談が 1 件、医療費圧迫による転居相談など、生活保護や生活困窮とは限らない住まいの相談があった。若年層における「住まいの課題」が多様化している。相談者本人(障害特性が見受けられる当事者)が相続した不動産を売却して、賃貸住宅へ住み替えを検討している。相談や、立ち退きに関するごみの処分費に関する相談など、相手方とどのように交渉を進めたらいいのかを相談に来るケースもあった。例年より、岡山県宅建協

会が開催する「無料相談会」への参加を促す相談内容が多かった。

(全体を通して)開催当初は、高齢者もしくは精神障害者から、金銭的な課題や緊急連絡人の確保の相談が主であった。複雑・多様な課題を抱えた結果として「住まい確保」が必要となり、相談にこられる方が増えている。コロナ禍以降は相談件数が2倍以上に増えた。世界情勢の不安定化、物価高騰などによる生活費圧迫から「住まい」の課題も変化している。居住支援や福祉の観点だけではなく、法律や各種制度などを把握している専門家に繋げるなど、相談者の課題に応じた対応が重要である。さらなる関係各所の協力や連携体制の構築が重要であり、情報共有、連携して対応する関係性の構築が必要。

令和8年度から、岡山市内では初めて、岡山市社会福祉協議会(岡山市寄り添いサポートセンター)が居住生活支援業務(厚生労働省生活困窮者自立相談支援事業)を岡山市から受託(住まい相談員業務を岡山県宅地建物取引業協会に再委託)し、その内で当無料相談会を実施する。当該事業に参加することにより、岡山県宅地建物取引業協会からの派遣相談員はセーフティーネット住宅制度や生活困窮者自立支援制度など各種制度への理解が深まることが期待される。また岡山市内で活動する「居住支援法人」が無料相談会に参画することを今後想定しており、岡山市社会福祉協議会がそれら居住支援法人と連携することにより、各法人の資質向上と均てん化につながることを期待する。

2)「一時的に居所を必要とする人のためのシェルター事業」においては、26世帯の居所がないシングルマザー世帯や、生活困窮者、家庭内暴力被害者、年金受給者、支援者による金銭搾取を受ける障害者などが避難するための民間シェルター事業を行った。強制執行になった多子世帯の受け入れが年末年始にかけて5件(1件継続中)存在した。強制執行になった世帯には、何度も強制執行を繰り返しているものもあり、本人の自覚として家賃滞納になると住まいを失うということへの欠如も感じられる。

また前年度、ひきこもりからの自立のために、当事者のペースに寄り添いながら、両親とともに暮らしていた家とシェルターを行き来することで、一人での生活が少しずつ実態として見えて慣れてくるものへのサポートを行い、民間賃貸住宅へ移行することができたケースがあった。が、当年度はなかった。しかし、精神疾患を持つ世帯の世帯が不和による世帯分離に寄与したケースは複数件存在した。精神障害者や発達障害者が自立を目指す練習先としてのシェルター利用に許容していきたい。

3)「よるカフェうてんて」の当事者居場所事業については、当事者2名をマスターとして運営を継続している。例年通り、新規利用者や常連利用者(リピーター)は増加しており、また、ボランティアスタッフである川崎医療福祉大学の学生ボランティア部による定期的な参加が醸成していると感じている。よるカフェうてんてへの参加によって当事者理解にも寄与している。「うてんて料理会」は実施されなかった。

4)「うてんてからはじまるフードバンク・フードドライブ事業」では、社会

福祉法人丸紅基金からの寄贈車両を活用して株式会社フジ（旧山陽マルナカ）、株式会社ハローズの各店舗へ、フードバンク・フードドライブ商品の受取や配布を毎日行った。フードバンクやフードドライブ商品の一部食材を活用して、「うてんて」にて総菜化し、見守り活動（直接訪問して生活の様子をうかがうアウトリーチ活動などを含めて）の支援活動を実施した。また株式会社岡山高島屋と協働で「もったいないをありがとう」をキャッチフレーズとしたフードドライブ活動を1年の間に4回開催。今年度も1回の開催でおよそ200kg以上のフードドライブ商品が集まり、全国の高島屋店舗の中で回収総重量1位であった。当法人が知る提供者だけに限らず、少しずつではあるが、株式会社岡山高島屋のお客様よりいただける人数が増えてきており、裾野の拡がりを感じるようになった。川崎医療福祉大学の学生ボランティアによる呼びかけも醸成効果があると感じている。

食品加工業者（非公表）からの食品廃棄物は、今年度も毎日提供いただき、小売店へ卸す、お寿司や焼きそば、卵焼き、てんぷらなどをいただければ、小包装にし直して、数多くの支援団体や自治会へ提供した。地域で暮らす住民への見守り活動として、弓之町町内会、下中野木村町内会へお渡しをし、独居の高齢者への見守り活動に寄与した。また更生保護施設である美作自修会、岡山市内の精神障害者施設の特設非営利活動法人岡山けんかれん、子ども食堂運営者の津島みんな食堂や、特定非営利活動法人子どもシェルターモモ、瀬戸内市内の特定非営利活動法人岡山ダルク、吉備中央町の社会福祉法人などへ配布を実施した。岡山市内に限らず、配布ができていて、誰も取り残さない地域社会への一助となったのではと考える。また一時的に居所を必要とするシェルター利用者へも配布を行い、食糧支援と見守り活動を実施した。

5) 全国一斉に開催される「いのちと暮らしを守るなんでも相談会」では、岡山県内の実施主体として弁護士法人岡山パブリック法律事務所と協働で電話と対面による相談会を3回開催した。相談会では毎回、フードドライブ食品などの食料配布を行った。相談内容としては、主に、物価高騰による生活困窮度が逼迫し、非常に苦しく切羽詰まったものを感じる年金受給者や生活保護受給世帯からの相談が目立っていた。また年末の相談会では、お餅つき大会も同時に開催して、様々な職種の方（医師、看護師、医療従事者、弁護士、行政書士、地方議員、県職員、市職員、警察官、銀行員、不動産業者、連合町内会長、民生委員、社会福祉協議会職員、住職など）をはじめとする「支援者」側と、地域で暮らす高齢者、障害者や障害児とご家族などの「要支援者」側ということに隔たりなく、みんなで協力をして一つのことに取り組み、地域共生社会の一端を担ったと考える。12月の開催時には、45キロのもち米をすべてお餅にして、参加者へ提供し、そして引きこもっている単身世帯の高齢者や精神障害者、そしてシングルマザーの多子世帯への配布などを行った。また、年末年始のサクラソウでの炊き出しにも使用した。

6) 「岡山市配偶者暴力被害者等支援事業（女性支援事業）」では、先駆的に若者女性支援に取り組むNPO法人BONDプロジェクトより橋ジュン氏と当事者

でありながら、ピアとして活動に参加する女性2人を招聘して、8月17日から18日の2日間にかけてアウトリーチ活動を実施した。現状として教育虐待により家庭内での居場所がなく生きづらさを覚えているものや、性的虐待やデートDVなどによりリストカットやODを繰り返し自分の価値を見出せないものが、夜の繁華街に彷徨っている若者女性たちをどのように支援して寄り添っているのか、アウトリーチ活動の実態調査をおこなった。課題としては、支援団体が差し伸べる手よりも、売春目的で声をかけてくる男性や風俗で働くためのキャッチの存在のほうの手を掴む若者女性が圧倒的に多く、彷徨う彼女たちの心の闇の深さにどのように寄り添うのか、資質向上研修の必要性と他団体との連携の必要性を感じた。

総括) 各事業を通じて、高齢者や障害者をはじめとする様々な困難を抱えたものへの偏見の除去に取り組み、「住まい確保」から、「暮らしの安定」、そして「自立」へと、誰もが安心して地域で暮らし続けることができるための活動に寄与した。地域社会で暮らす全てのものに向けた、誰も取り残さない持続可能なまちづくりとして、経済的困窮世帯の把握や人間関係の希薄等による孤立しがちな方などへの支援も行い、そして関連団体との連携構築により一層深く関係性を見出した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名(定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位: 千円)
1. 障害者総合支援法等に基づく障害福祉サービス事業	生きづらさを感じる市民が、困難を乗り越えた者による寄り添いを提供する事業の実施。	不実施	不実施	不実施
2. 障害者総合支援法等に基づく相談支援事業	生きづらさを感じる市民が、困難を乗り越えた者による寄り添いを提供できる場にて相談を受け	不実施	不実施	不実施

	る事業の実施。			
3. 精神保健・医療・福祉・居住・就労等に係る相談事業	「いのちと暮らしを守るなんでも相談会」岡山会場を担い相談を受ける事業の実施。	(A)随時 (B)岡山市北区 東古松 2-2-9 (C)4人	(D)生活困窮者等 (E)20人	562
4. 地域支援ネットワーク事業	「よるカフェうてんて」事業の実施。	(A)令和7年4月1日から令和8年3月31日までの週末 (B)岡山市北区 東古松 2-2-9 (C)4人	(D)精神障がい者、家族、支援者、市民等 (E)200人	616
5. 偏見除去のための啓発活動	講師を招聘して、研修会を実施。	(A)令和7年8月17日から18日の2日間 (B)岡山市北区 東古松 2-2-9 (C)5人	(D)困難を抱えた若者女性、精神障害者、家族、支援者、市民等 (E)100人	261
6 要配慮者の居住支援に係る業務等	精神障がい者やその家族等の住宅確保要配慮者及び精神保健福祉等関係機関並びに空き家所有者等からの、住居等についての相談事業の実施。	(A)随時 (B)岡山市北区 東古松 2-2-9 (C)6人	(D)精神障がい者やその家族、高齢者等の住宅確保要配慮者及びその家族並びに空き家所有者 (E)88人	3,928
7. その他、この法人の目的を達成するために必要な活動	“その日”に泊まる場所がない障がい者、高齢者、刑余者等にシェルター事業の実施。	(A)随時 (B)岡山市内、津山市内 (C)6人	(D)障がい者、高齢者、刑余者等 (E)40人(26世帯)	10,393
7. その他、	フードバンク・フ	(A)随時	(D)食料品や	0

この法人の 目的を達成 するために 必要な活動	ードドライブ活 動の実施。	(B)岡山市内 (C)6人	衣服等を 緊急に必 要とする 者 (E)1,000人	
----------------------------------	------------------	------------------	--	--

法人名: 特定非営利活動法人おかやまUFE

活動計算書

2025 年 4 月 1 日 ~ 2026 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費(1人1万円×8名)	80,000		
受取会費計	80,000	①	
2. 受取助成金			
橋本財団(よるカフェうてんて)	500,000		
居任文援協議会等活動文援事業 (住まいと暮らしのサポートセンターおかやま)	1,985,000		
岡山県居任文援協議会 (住まいと暮らしのサポートセンターおかやま)	250,000		
岡山市生活困窮者自立相支援事業 (住まいと暮らしのサポートセンターおかやま)	3,040,000		
配偶者暴力被害者等支援事業 (DV研修)	295,000		
SOMPO福祉財団(認定NPO取得資金)	-		
LIFULL HOME'S基金(シェルター)	-		
受取助成金計	6,070,000	②	
3. 事業収益			
住まいと暮らしのサポートセンターおかやま シェルター	-		
よるカフェうてんて	4,507,530		
うてんて料理会参加料	24,200		
フードドライブ・いのちと暮らしを守るなんでも相談会	-		
配偶者暴力被害者等支援	-		
その他	-		
事業収益計	4,531,730	③	
4. その他収益			
受取利息	32,362		
戻利息	-		
寄付金収入	-		
保険金	-		
現金過不足	-		
その他収益計	32,362	④	
経常収支小計(①+②+③+④)		10,714,092	
経常収益計			10,714,092
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
賃金・給料手当(6名分)	3,981,841		
雑給	-		
法定福利費	-		
人件費計	3,981,841	⑤	
(2)その他経費			
広告宣伝費	-		
製本印刷費	12,985		
交際費	-		
旅費交通費	105,432		
通信運搬費	397,134		

消耗品費(シエルター)	325,353		
消耗品費(事務所等)	142,281		
修繕費	75,900		
光熱水費(シエルター)	1,528,291		
光熱水費(事務所等)	324,352		
支払手数料	990		
車両費	170,296		
地代家賃(シエルター)	-		
地代家賃(その他)	-		
借料損料	8,336,000		
リース料	-		
保険料	109,950		
租税公課	-		
支払報酬料	80,000		
雑費	61,390		
研修費	111,140		
支払利息	-		
助成金返還金	-		
貸倒損失	-		
その他経費計	11,781,494	⑥	
事業費計(⑤+⑥)		15,763,335	⑨
2. 管理費			
(1) 人件費			
賃金・給料手当	-		
法定福利費	-		
人件費計	-	⑦	
(2) その他経費			
製本印刷費	-		
広告宣伝費	-		
交際費	-		
旅費交通費	-		
通信運搬費	-		
消耗品費	-		
修繕費	-		
光熱水費	-		
支払手数料	-		
車両費	-		
地代家賃	-		
賃借料	-		
リース料	-		
保険料	-		
租税公課	-		
支払報酬料	-		
雑費	-		
研修費	-		
支払利息	-		
助成金返還金	-		
貸倒損失	-		
その他経費計	-	⑧	
管理費計(⑦+⑧)		-	⑩
経常費用計(⑨+⑩)			15,763,335
当期正味財産増減額			-5,049,243
前期繰越正味財産額			20,123,427
次期繰越正味財産額			15,074,184

法人名： 特定非営利活動法人おかやまUFE

貸借対照表

2026 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	22,772,316		
未収金	411,770		
仮払金	-		
流動資産合計		23,184,086	
2. 固定資産			
固定資産合計		-	
資産合計			23,184,086
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	-		
未払金	8,109,902		
預り金			
その他	-		
流動負債合計		8,109,902	
2. 固定負債			
固定負債合計		-	
負債合計			8,109,902
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		20,123,427	
当期正味財産増減額		-5,049,243	
正味財産合計			15,074,184
負債及び正味財産合計			23,184,086

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NP0法人会計基準（2011年11月20日 NP0法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上していません。
- (2) ボランティアによる役務の提供
ボランティアによる役務の提供は、活動計算書に計上していません。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

3. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	住まいと暮らしのサポートセンターおかもま(居住支援)	一時的に居る所を必要とする方への事業(民間シェルター)	よるカフェうてんて	うてんて料理会	フードドライブ・いのちと暮らしを守るなん	配偶者暴力被害者等支援	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益									
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	80,000	80,000
2. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 受取助成金等	5,275,000	0	500,000	0	0	295,000	6,070,000	0	6,070,000
4. 事業収益	0	4,507,530	24,200	0	0	0	4,531,730	0	4,531,730
5. その他収益	0	0	0	0	0	0	0	32,362	32,362
経常収益計	5,275,000	4,507,530	524,200	0	0	295,000	10,601,730	112,362	10,714,092
II 経常費用									
(1) 人件費									
給料手当	3,334,473	0	329,568	0	317,800	0	3,981,841	0	3,981,841
通勤費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑給	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	3,334,473	0	329,568	0	317,800	0	3,981,841	0	3,981,841
(2) その他経費									
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製本印刷費	9,690	0	0	0	0	3,295	12,985	0	12,985
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	1,320	0	3,600	100,512	105,432	0	105,432
通信費	334,626	3,000	51,348	0	8,160	0	397,134	0	397,134
消耗品費	59,435	325,353	21,036	0	61,810	0	467,634	0	467,634
修繕費	0	75,900	0	0	0	0	75,900	0	75,900
水道光熱費	110,724	1,528,291	213,628	0	0	0	1,852,643	0	1,852,643
支払手数料	0	0	0	0	990	0	990	0	990
地代家賃	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	8,336,000	0	0	0	0	8,336,000	0	8,336,000
リース料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車輻費	0	0	0	0	170,296	0	170,296	0	170,296
保険料	0	109,950	0	0	0	0	109,950	0	109,950
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払報酬料	80,000	0	0	0	0	0	80,000	0	80,000
雑費等	0	14,920	0	0	0	46,470	61,390	0	61,390
研修費	0	0	0	0	140	111,000	111,140	0	111,140
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
助成金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外注費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貸倒損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	594,475	10,393,414	287,332	0	244,996	261,277	11,781,494	0	11,781,494
経常費用計	3,928,948	10,393,414	616,900	0	562,796	261,277	15,763,335	0	15,763,335
当期経常増減額	1,346,052	-5,885,884	-92,700	0	-562,796	33,723	-5,161,605	112,362	-5,049,243

4. 用途等が制約された寄附金等の内訳

用途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	備考
	0	0	0	
合計	0	0	0	

5. 役員及びその近親者との取引の内容
役員及びその近親者との取引は以下の通りです。
(単位：円)

科目	計算書類に計 上された金額	内役員及び近 親者との取引
(活動計算書)		
受取寄附金	0	0
貸金	0	0
支払報酬料	0	0
活動計算書計	0	0
(貸借対照表)		
未払金	0	0
貸借対照表計	0	0

法人名: 特定非営利活動法人おかやまUFE

財産目録

2026 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金			
小口現金(預り金)	6,449		
香川銀行岡山支店	5,395,877		
香川銀行岡山支店②	5,143,237		
香川銀行岡山支店③	23		
中国銀行岡山駅前支店	6,332,447		
中国銀行大元支店	-		
三菱UFJ銀行岡山支店	-		
ゆうちょ銀行548支店	1,153,026		
おかやま信用金庫当新田支店	2,227,049		
おかやま信用金庫当新田支店	1,884,917		
おかやま信用金庫当新田支店	629,291		
未収金			
今期シェルター未収金	411,770		
その他未収金			
仮払金	-		
流動資産合計		23,184,086	
2. 固定資産			
固定資産合計		-	
資産合計			23,184,086
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	-		
未払金等			
地代家賃			
水道光熱費	1,852,643		
通信費	397,134		
預り金	-		
その他	5,860,125		
流動負債合計		8,109,902	
2. 固定負債			
固定負債合計		-	
負債合計			8,109,902
正味財産			15,074,184

前事業年度の年間役員名簿

(2025年4月1日～2026年3月31日)

特定非営利活動法人おかやまUFE

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事長	ミズタニ ケン 水谷 賢		2025/4/1 ～ 2026/3/31	無
2	副理事長	サカイ ヒトミ 阪井 ひとみ		2025/4/1 ～ 2026/3/31	無
3	理事	スズキ シズカ 鈴木 静		2025/4/1 ～ 2026/3/31	無
4	理事	コザカイ ヨシヒロ 小堺 義弘		2025/4/1 ～ 2026/3/31	無
5	理事	オオモリ ブンタロウ 大森 文太郎		2025/4/1 ～ 2025/9/3	無
6	理事	ヤマモト マサトモ 山本 昌知		2025/4/1 ～ 2026/3/31	無
7	理事	ナガサキ カズノリ 長崎 和則		2025/4/1 ～ 2026/3/31	無
8	理事	キタヤマ カツユキ 北山 克幸		2025/4/1 ～ 2026/3/31	無
9	理事	タネダ アヤノ 種田 綾乃		2025/4/1 ～ 2026/3/31	無
10	理事	タケナカ マユミ 竹中 麻由美		2025/4/1 ～ 2026/3/31	無
11	理事	アカマツ トシマサ 赤松 稔正		2025/4/1 ～ 2026/3/31	無
12	監事	コザカイ サチエ 小堺 紗千恵		2025/4/1 ～ 2026/3/31	無